

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

自主防災会

事業名	1	地域防災強化事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	239,790円		助成金充当額	100,000円
事業対象者	全地区民		参加人数	56人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・防災訓練の実施 ・防災資機材の点検、整備 ・防災士資格取得者への助成 ・緊急避難場所(厚南小学校)開設マニュアル作成支援 ・モデル自治会での内水氾濫危険個所のマップ化 ・海拔揭示パネルの更新 ・厚南地区雨水流路図の作成			
事業目標	・年1回の地区自主防災訓練の実施 ⇒ 厚南中学校体育館での初開催 ・防災士資格取得者への助成 ⇒ 未実施 ・防災資機材の点検、充実 ・厚南小学校緊急避難場所開設マニュアル作成支援 ・モデル自治会での内水氾濫危険個所のマップ化 ⇒ 令和3年度繰越分 ・海拔揭示パネルの更新 ・厚南地区雨水流路図の作成			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	・地区防災訓練参加人員 ・防災士資格取得者への助成 ・内水氾濫危険個所のマップ化 ・海拔揭示パネルの更新	・100人 ・1人 ・2自治会 ・当初計画無し	・56人 ・未実施 ・令和3年度からの繰越分のみ ・44枚	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 内水ハザードマップ化に関する基礎データ等把握の困難性、新型コロナの感染拡大による集会や協議の場を持つことの困難性など			
事業効果	・自治会単位の防災活動の促進 ・早期避難の実現や避難所運営の円滑化など避難に関する取組 ・市行政、地区内福祉関係団体、NPO、県立大学など多様な主体との連携			
今後の課題等	・大規模災害が頻発する今日にあって、災害からの逃げ遅れゼロに向けた取組みが不可欠であり、地区単位での取組みと自治会単位での取組みを明確化しながら進めていくことが必要。 ・緊急避難場所等の開設や運営をより円滑化するための自主防災会の役割等の再整備。 ・上記活動を担う人材の育成。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2 3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2 3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2 3
	今後も事業継続できますか		1	2 3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

コミュニティ推進協議会

事業名	2	健康づくり事業		
事業期間	令和4年10月～令和5年3月			
決算額	80,915円	助成金充当額	80,000円	
事業対象者	地区全住民	参加人数	172人	
事業内容	<p>(どのような事業を、どのように行ったか)</p> <p>チャレンジデー：コロナ禍で健康二次被害が懸念されるため、体を動かさずきっかけづくりとして体力測定を実施。 ドクターと話せる講座：フレイル予防や健康診断の検査値の見方について医師の講話を2回実施。 へら塩ベジうべ講座：3回のうち2回栄養士の講話、1回は栄養士のレシピを食推さんと調理実習を実施。 ウォーキングイベント：6か月取り組めるウォーキングイベントを実施。イベント期間中は、開会式でレノファ体操、情報交換会で筋トレやスクエアステップ、修了式ではニュースポーツと情報交換など楽しく継続できるように集まって行うイベントも企画。</p>			
事業目標	・自分の健康状態について知り、生活習慣の見直しや必要な行動がとれる。 ・体を動かす楽しさを感じて運動を始めることができる ・普段の食生活について振り返り、健康課題に気づくことができる。			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	チャレンジデー参加人数	30名	16名	
	ドクターと話せる講座参加人数	30名	1回目14名、2回目18名	
	へら塩ベジうべ講座参加人数	20名	1回目20名、2回目18名	
	へら塩ベジうべ調理参加人数	14名	14名	
ウォーキングイベント参加人数	70名	72名		
	(達成できた、又は、できなかった要因)			
	チャレンジデーについては、体力測定が他の事業でも実施されており、同じ内容であれば参加しないという人もいた。コロナの影響もあり、感染者が増えてきた際は参加者も少なくなったり影響があった。コロナ禍でも個人で取り組めるウォーキングは目標以上に参加者が集まった。			
事業効果	<p>(事業の実施により、どのような効果が得られたか)</p> <p>ウォーキングに関しては6か月の長期的な取組みが初めてであったが、参加者72名のうち51名が目標の東京(毎日約7400歩以上)達成しており、参加者の多くは運動の習慣性が身についている。へら塩ベジうべ講座では、3回実施で1回は調理であったが、レシピを周囲へ広めた人もおり、参加者から周囲への波及効果もみられた。3回目の講座でクイズを取り入れたが、正解する問題も多く、正しい理解ができていた。医師の講座では、フレイル予防や健康診断後の結果の見方について座談会での質問など意見交換も活発で健康づくりへの意識が高まっていることが伺えた。</p>			
今後の課題等	<p>(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など)</p> <p>厚南地区は高血圧、脂質異常症、糖尿病など生活習慣に関連した、疾病を抱えている人が多い傾向は続いている。また、コロナ禍での外出頻度の低下からフレイル(心と体の虚弱)が懸念され運動や栄養についての取り組みは必要である。単発の事業ではなく、継続した取り組みができるよう長期的な計画や、事前に周知できるよう早期に計画する必要がある。</p>			
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

コミュニティ推進協議会

事業名	3	小中学校連携事業(小学校)		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	ゼロ予算	助成金充当額	0円	
事業対象者	全地区民	参加人数	環境整備作業への参加者 42人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・年4回開催の学校運営協議会に、地域団体役員等が参加した。 ・10月26日に開催された児童・保護者による環境整備作業に、地域住民が参加・協力した。 ・朝食レシピコンテストに協力した。 ・地域計画の改訂にあたって、6年生児童から「これからの厚南」について提案を受けた。			
事業目標	・学校運営協議会や行事に参加・協力することにより、地域住民の学校に対する理解を深める。			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	環境整備作業への参加者数	60人	42人	
事業効果	(達成できた、又は、できなかった要因) ・新型コロナウイルス感染症の影響によると考えられる。			
今後の課題等	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・学校行事への参加を通じて、地域住民と学校・児童との交流を深めることができた。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書 (事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

コミュニティ推進協議会

事業名	3	小中学校連携事業 (中学校)		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	ゼロ予算	助成金充当額	0円	
事業対象者	全地区民	参加人数	中川清掃への中学生参加者 120人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・年3回開催の学校運営協議会に、地域団体役員等が参加 ・地域行事への中学生ボランティア受け入れ (自主防災訓練、ふるさとまつり、中川清掃、中川河口清掃活動)			
事業目標	・学校運営協議会への参加や、地域行事へ中学生ボランティアを受け入れ、共働することにより、地域住民の学校に対する理解を深め、中学生との交流を図る。			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	中川清掃への中学生の参加	100人	120人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・中学校側の積極的な協力により、目標を達成できた。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・各学期の学校運営協議会に生徒会役員も参加したことにより、中学生と意見交換することができた。 ・地域行事への中学生ボランティア受け入れを通じて、地域住民と学校・中学生との交流を深めることができた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・ボランティアの受け入れにあたって、事前調整をしっかりと行うことにより、スムーズな事業実施を図りたい。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	①	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	③
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

社会福祉協議会

事業名	4	地域福祉事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	4,350,684円		助成金充当額	975,400円
事業対象者	全地区民		参加人数	382人
事業内容	<p>(どのような事業を、どのように行ったか)</p> <p>○高齢者福祉事業への支援 敬老会及び高齢者ふれあい事業への助成。新型コロナの影響で敬老会は記念品の進呈などという形式で実施された。高齢者ふれあい事業も多くの自治会では開催が見送られ、集まっての事業実施は、茶話会3自治会、昼食会1自治会という状況であった。</p> <p>○児童福祉の充実 子ども居場所づくり(1団体)及び子どもふれあい事業(3自治会)への助成。</p> <p>○健康づくりふれあい事業への実施 厚南ポッチャサロンを地域の福祉施設の協力を得て実施。新型コロナの影響で毎月開催とはならなかった。一方、厚南中学校生徒会が中心となり企画された西宇部・厚南ポッチャ大会(9月25日、16チーム、65人の参加)の開催を支援した。また、ワクワク健康クラブ事業をYIC、宇部西リハビリテーション病院、西部第1高齢者総合支援センター、行政などと協力して7回集合形式で開催。</p> <p>○地域福祉推進に資する研修会等の実施 ・福祉教室を6月19日に45名の参加を得て開催。</p>			
事業目標	○高齢者福祉の推進 ○児童福祉の推進 ○保健事業の推進 ○地域コミュニティづくりの推進			
	数値目標		令和4年目標	令和4年実績
	①敬老会参加者		①700人	①対象1,799人
	②子どもふれあい事業参加者		②400人	②199人
	③厚南ポッチャサロン参加者		③延べ100人	③延べ40人(6回開催)
④地域支援マップ作成自治会		④3自治会	④0自治会	
⑤ワクワク健康クラブ参加者		⑤当初計画無し	⑤延べ143人(7回開催)	
(達成できた、又は、できなかった要因) 新型コロナウイルス感染症予防対策として集まっての形式での事業が開催できなかった。				
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 新型コロナウイルス感染症予防対策で事業が十分にできなかった。事業の実施方法、周知のあり方などに課題を残すも、健康づくり事業に見られるように、継続的に事業を実施していく中で、絆づくり、健康づくりに寄与できるものを考える。			
今後の課題等	事業の継続実施と事業の地域への周知、及び地域課題・魅力創設につながる活動により一層発展させていくことが課題と考える。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	② 3
	助成金を有効に活用できましたか		1	② 3
	多くの住民の参加が得られましたか		①	2 3
	今後も事業継続できますか		1	② 3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

コミュニティ推進協議会

事業名	5	地域づくり事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	914,976円		助成金充当額	470,000円
事業対象者	全地区民		参加人数	2,320人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・区民運動会 ・厚南ゆめ広場「どんど焼き」 ・地区だより「厚南だより」発行 ・まちづくりサークル			
事業目標	地域行事の実施			
	数値目標		令和4年目標	令和4年実績
	区民運動会		500人	約500人
	ふるさとまつり		2000人	約1500人
厚南ゆめ広場		500人	約200人	
まちづくりサークル		延べ300人	延べ139人	
(達成できた、又は、できなかった要因) ・新型コロナウイルス感染対策のため、区民運動会・ふるさとまつりは時間短縮、飲食なしで規模を縮小して開催した。 ・地区だより「厚南だより」毎月発行				
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 新型コロナウイルス感染対策のため、規模を縮小しながら区民運動会・ふるさとまつりを3年ぶりに開催した。まちづくりサークルは、地域団体、地域住民の方に参加してもらい、地域計画の見直しを行った。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・地域コミュニティの各メンバーが高齢化しているため、活力のある人材づくり ・地域行事などのお手伝いをしてくれるボランティアの確保 ・地域の行事の伝承・継承 ・全ての地域住民が参加できるふれあいの場を広げたい			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2 (3) 3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2 (3) 3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2 (3) 3
	今後も事業継続できますか		1	2 (3) 3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

子ども会育成連絡協議会

事業名	6	健全育成事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	283,745 円		助成金充当額	30,000 円
事業対象者	全地区児童		参加人数	90名
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・広報誌「はぐるま」の発行 ・ドッチビー大会、デイキャンプの開催 ・ふるさとまつり参加(ゲームコーナー担当)			
事業目標	地域行事の実施			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	球技大会(ドッチビー)参加人数	100人	50人	
	デイキャンプ参加人数	50人	40人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 新型コロナウイルス感染予防対策をしながら、開催した。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 今年度は、新型コロナウイルス感染予防対策をし、規模を縮小して主要行事を開催した。子ども会員の思い出を広報誌として作成し配布した。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・加入している子ども会が減少し、活動が維持できない。地域、各自治会と対策を考えないといけない。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

環境衛生連合会

事業名	7	環境対策事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	573,003円		助成金充当額	160,000円
事業対象者	全地区民		参加人数	1,015人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・中川清掃・中川河口ヨシ原清掃活動 ・空き缶拾いの実施(年2回) ・プラゴミ減量推進 ・視察研修			
事業目標	・中川清掃・中川河口ヨシ原清掃活動 ・空き缶拾いの実施(年2回)			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	・中川清掃・中川河口ヨシ原清掃参加人数	200人	237人	
	・空き缶拾い参加人数	800人	751人	
	・研修会参加人数	40人	27人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) コロナ禍で人数の縮小等はありませんでしたが、各自治会、各団体、中学生ボランティア等の協力を得ながら行事が行えた。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 各行事に多くの方に参加してもらい、地域美化に取り組めた。また、日頃交流のない方とのつながりができた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・SDGs、脱炭素社会の実現 ・一人一人が考えて行動する環境部			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3